

アニメの祭典「Anime NYC 2026」で続報発表！

Netflix 世界独占配信

アニメ「フルナイト」

2026年11月26日(木)全話一挙配信決定！

ティザーPV 第2弾が到着！追加キャラクター&豪華キャスト解禁

榎木淳弥、遠藤 綾、水内清光の出演が決定！

さらに、追加キャスト&スタッフのコメントも到着！

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

アニメの祭典「Anime NYC 2026」（アメリカで開催中）のNetflixパネルで「サンライズ×シャフト」が制作初タッグで手掛けるNetflixシリーズのアニメ「フルナイト」の最新情報が一挙公開！Netflixでの世界独占配信日が11月26日&全話一挙配信決定！さらに、ティザーPV第2弾到着、追加キャラクター&キャスト解禁。榎木淳弥、遠藤 綾、水内清光ら、「フルナイト」の作品世界を彩る、豪華実力派キャスト陣の出演が決定！コメントも到着しました。



ティザーPV第2弾では、物語のサスペンフルな展開を感じさせる内容や、新たなキャラクターの姿など「フルナイト」の作品世界をより鮮明に映し出し、今後にますます期待が膨らむ内容となっています。

また、メインスタッフのシリーズ構成・田中 仁、キャラクターデザイン・ロバート佐藤、副監督・志村 亮、ビジュアルデベロップメント・菊地 涼、音響監督・鶴岡陽太、音楽・加藤達也のコメントも到着。今後の続報にもご期待ください。



✿ ティザーPV第2弾到着

「転花」を希望する神谷トシローに現実を突きつける蓬莱ヨミコの悲痛な嘆きや、人々を襲う謎の爆発や業火、飴を手にしたまま切り落とされた右手、トシローの身体から生える血の滴ったツタなど、サスペンフルな展開を感じさせる内容がダイナミックかつ繊細な映像で描かれます。追加キャラクターの八束アキラ、叶野沙絵子、平岸ジンの姿、最後には謎の触手を纏ったキャラクターが登場し、その全容や今後の展開にもますます期待が膨らむ内容に。

ティザーPV第2弾

https://www.youtube.com/watch?v=8E_SDmeOtVw





✿ 追加キャラクター&キャスト解禁

唯一無二である「フルナイト」の世界観をより魅力的に彩る追加キャラクター&キャストを解禁！

第四転花院人事部副部長の**八束アキラ**役に**榎木淳弥**、アキラのボディガードを務める**叶野沙絵子**役に**遠藤 綾**、主人公・神谷トシローを特例臨時職員として採用した「ナシ課」課長の**平岸ジン**役に**水内清光**の出演が決定。キャストよりコメントも届きました。

八束アキラ（cv: 榎木淳弥）

第四転花院人事部副部長。

エリートの自覚を持ち、出世に執着している。

合理主義的で冷酷に見えるが、人間味ある一面も持つ。

叶野とは長い付き合いで、深い信頼を寄せている。



【榎木淳弥 コメント】

初めて原作を読ませて頂いたとき、登場人物たちがこの世界で足掻いて必死に生きようとする姿にとっても惹きつけられました。

独特な世界観ではありますが、どこか現実世界ともリンクするような感覚を与えてくれる作品です。

みなさん是非楽しみに！

叶野沙絵子 (cv:遠藤 綾)

柔らかい雰囲気をもっているが、
かつては国境を警備していた元軍人という過去を持つ。
現在はアキラのボディガードを務め、
どんな相手であっても、バットを片手に飄々と対峙する。



【遠藤 綾 コメント】

もしかしたら、本当にこの世界のような未来が、と想像できてしまうほど現実的で、説得力のある台詞の数々が怖かったです。でもとても神秘的にも感じました。どんな形で生きることが自分や大切な人の為の幸せなのか、キャラクターを通して問われる中、掴みどころのない佇まいと言動の叶野は、癒しでもあり、少しの違和感でもあり、印象の正解の無いキャラクターだなと思いました。遠いようで近くて、近いようでまだ見たことも聞いたこともない動きや音がアニメーションでどうなるのか、私自身もとても楽しみです！

平岸ジン (cv:水内清光)

国立転花院の職員。どこにも所属しない通称「ナシ課」の課長。
「転花」したトーチローの能力を知り、特例臨時職員として採用する。
最近、同僚との賭け事で負けまくっている。人情に厚い。



【水内清光 コメント】

初めて「フルナイト」の原作を手にした時の衝撃！善とも悪ともつかぬ複雑多層な人々の物凄いエネルギーが渦となって展開される物語に、読む手が止まらぬとはこの事でした。アニメとなってNetflixで配信されるこの物語に、世界中の人々の心が私と同じ衝撃と興奮に震えるはずですよ。

さて我が平岸ジン、未来の人なのに昭和の匂いがする人物である。何程の力を持ち合わせている訳でもなく、あまり立派な方の大人でもない。が、物語の中を突き進むトーチローとヨミコのために「権力」や「地位」という防弾チョッキを纏わず二人の盾になってやろうという気概は持った漢である。そんなジンが皆様に伝わればいいなと願って演じました。

✿ メインスタッフからのコメント到着

シリーズ構成：田中 仁

【コメント】

ページをめくるごとに、夜に覆われた世界と、そこで生きる人たちの痛みが、重く突き刺さる。

誰もが、理想的でもなく、正しくもなく、ただ、強く望み、生きる。

そんな原作を映像化するため、安田先生、湯川監督たちと打ち合わせを重ね、シナリオを構築していきました。

最後まで、たくさんの方に観ていただけると嬉しいです。

キャラクターデザイン：ロバート佐藤

【コメント】

これまで絵を動かす事が好きでキャラクターデザインという仕事は、自分の人生と無縁だと思っておりました。

ただある日、

監督の湯川さんから今作のお話を頂いて、

原作が漫画との事でじゃあ1巻だけと、読み始めて気付けば2巻を読んでいたんです。

また気付けば3巻を読んでいて、気付けば、――

そして今日、

未熟ながらもスタッフの方々に支えて頂き光栄にも

「フルナイト」に携わる事ができた次第です。

今作が多くの人に届くと嬉しいです！

副監督：志村 亮

【コメント】

今回フルナイトの映像化にあたって心がけたのは、原作の奥深い世界観、重厚なドラマの魅力を映像という媒体を通して、より魅力的にすることです。

原作者の安田先生が織りなすドラマでの人々の距離感、会話の間はとても現実的で共感できる点があり、映像化した際に原作ファンの方が期待している大きな部分のひとつではあると思います。個人的には今作では、その点がどう映像化されたかも注目してほしい点です。

制作現場で湯川監督と色々な映画を引き合いに出してあーでもない、こーでもないと議論する日々はとても有意義でした。その甲斐あって今作は一味違う映像美をお届けできていると思います。

ビジュアルデベロップメント：菊地 涼

【コメント】

私が担当したのはカラスクリプトや美術ボードで世界観を形作ることでした。

安田先生が描いたものを辿っていく中で感じたのは

光を失ったこの世界の景色はただ貧しくすんでいるものではなく

むしろ多彩。無機質で装飾的な建築と同居する生々しい霊花、文化とアートを内包するダーティーな街が人為的な光でのみ浮かび上がる。

ソリッドさとポップさが融合し

複雑に構成された世界が漫画の白黒のコマの中に鮮烈に描き出されていました。

光の制約の中にこそ存在するフルナイトの魅力を映像作品でも見てみたい、たくさんの人に見てほしい。

雲に覆われた世界にも息づく、美しさや豊かさがトニーシロー達の生と共にあるように、日々精進しています。原作と一緒に楽しんでいただければ嬉しいです。

音響監督：鶴岡陽太

【コメント】

最初にお話をうかがって原作に接した時に、今時珍しい創造的な余地の大きい作品だなと感じました。

だからこそ、その時点では音響的なインスピレーションは混沌としていたのですが、そこから監督のイメージに導かれ、

徹底して装飾を剥ぐという精神を基に、音楽も含めたスタッフ・キャストの努力に支えられて、

今の日本発の個性的なサウンドトラックに出来たのではないかと思います。

音楽：加藤達也

【コメント】

「フルナイト」は、退廃的で閉塞感のある世界の中に、それでも光を求める人間の切実さや危うさが絶えず息づいている様が、繊細に描かれているところがとても魅力的だと感じています。音楽制作においては、湯川監督と何度も濃密なやり取りを重ねながら、この世界に流れる祈りや土着性、そこに根付く静かな不穏さとは何かということをひとつひとつ時間をかけて探り続けました。生と死の境界がゆっくりと揺らいでいく感覚を、旋律で直接的に説明するのではなく、呼吸や声、響きそのものから描き、登場人物たちの葛藤ややるせなさ、懸命さが立ち上がるような音楽を目指しました。この作品でしか味わえない世界観を、Netflixを通して世界中の方に受け取っていただけることを楽しみにしています。

✿ クリエイター陣のインタビュー映像公開

湯川監督と、サンライズ×シャフトのアニメーションプロデューサーのインタビューや制作現場の映像を初公開！

監督が語る「フルナイト」という作品の魅力や、初タッグとなるサンライズ×シャフト両スタジオのクリエイティブへのこだわりなど、アニメ「フルナイト」の濃密な制作の舞台裏に迫る内容となっています。

インタビュー映像

<https://www.youtube.com/watch?v=wRnm1HY7wFY>



〈ご参考〉作品概要

【配信情報】

2026年11月26日（木）、Netflix世界独占配信（全話一挙配信）

【タイトル】

「フルナイト」

【原作】

安田佳澄（小学館「ビッグコミックスペリオール」連載中）

【スタッフ】

監督：湯川敦之／シリーズ構成：田中 仁／キャラクターデザイン：ロバート佐藤／副監督：志村 亮／ビジュアルデベロップメント：菊地 涼／美術監督：高野真希(J.C.STAFF)／色彩設計：日比野 仁／撮影監督：石川万成(アニモキャラメル)、徳田千明(テラエフェクト)、会津孝幸(シャフト)／CGディレクター：山本直輝、平野潤也／編集：松原理恵(瀬山編集室)／音響監督：鶴岡陽太／音楽：加藤達也／アニメーション制作：サンライズ×シャフト／製作：「フルナイト」製作委員会

【キャスト】

神谷トニーロー：内山昂輝／蓬萊ヨミコ：寿 美菜子
八束アキラ：榎木淳弥／叶野沙絵子：遠藤 綾／平岸ジン：水内清光

【イントロダクション】

死期が近い人間の肉体に種を埋め込み、植物へと変える技術——「転花」。
それは、人類が生き延びるために選んだ手段だった。

ぶ厚い雲が空を覆い、冬と夜ばかりになった遥か未来の地球——。
ほとんどの植物は枯れ果て、酸欠状態に陥った人類は
「転花」によって得られるわずかな酸素に依存する社会を築く。

貧困に苦しむ青年・神谷トニーローは
税金、生活費、そして精神を病んだ母の薬代のため懸命に働き続けるが、
無慈悲な現実とは、次第に彼から希望を奪っていく。

——生きてて…楽しいことなんか、ひとつもない——

光なき世界で彼が選んだのは、
人間が姿を変えた植物——「霊花」になる道だった。

人として生き続けるか、
苦しみを捨て植物として新たな生へ踏み出すか。

あなたならどんな選択をしますか？

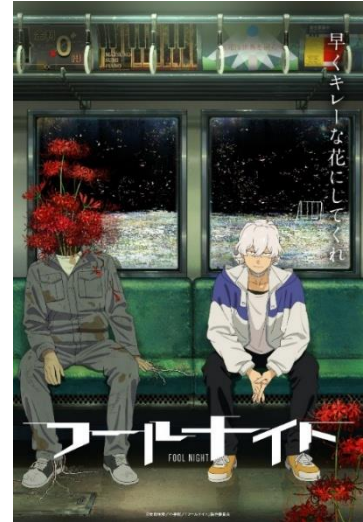
【原作情報】

小学館「ビッグコミックスペリオール」にて連載中。
原作単行本は第13集まで発売中で、国内外累計発行部数（電子含む）約80万部、
全世界17の国と地域で単行本発売済。
2023 Japan Expo Awards（DARUMA賞）最優秀サスペンス賞の受賞や、
「漫画界のカンヌ」とも呼ばれるフランス「アングレーム国際漫画祭」ノミネートなど、
海外でも高い人気を誇る。

公式サイト：https://foolnight.com

公式X：@foolnight_anime（推奨ハッシュタグ：#フルナイト）

©安田佳澄／小学館／「フルナイト」製作委員会



* プレスリリースの情報は発表時現在のものであり、発表後予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。